



東北大学グローバルCOE

Network Medicine創生拠点

大学院セミナー

椎名 隆 先生

(東海大学医学部分子生命科学・講師)

ヒト主要組織適合遺伝子複合体(HLA)の特徴 と他種との類似性

2008年11月13日(木) 17時-18時

医学部第2講義室(1号館1階)

椎名先生は、ヒト、サル、トリなどの生物種間におけるMHCの比較研究の第一人者で、MHCと進化の関連や、ヒト疾患とHLA多様性との関連について多くの業績を発表されています。今回のセミナーでは、MHC生物学の現況を講義いただくと同時に、マーモセットのMHCとヒト、マウスのMHCとの相同性・相違点についての最新の知見を免疫学の観点でご教示いただきます。マーモセットは今後の実験医学、実験免疫学を大きく進歩させる可能性のある新たな実験動物として注目されています。先生のご講演により免疫研究の将来に対する重要な示唆が得られるかも知れません。

参考文献

- Hosomichi, K. et al. Contribution of mutation, recombination, and gene conversion to chicken MHC-B haplotype diversity. *J. Immunol.* 181: 3393-9, 2008.
- Shiina, T. et al. Extended gene map reveals tripartite motif, C-type lectin, and Ig superfamily type genes within a subregion of the chicken MHC-B affecting infectious disease. *J. Immunol.*, 178: 7162-72, 2007.

本セミナーは医学履修課程特別セミナー等を兼ねています。
受講学生は履修簿を持参し、セミナー修了後にサインを受けること。
聴講は自由大歓迎です。学部生の皆さんもぜひどうぞ。

拠点リーダー 岡 芳知

世話人 菅村和夫(免疫学・内線8096)